

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

いわき経済同友会

6月号／2010年6月1日発行

3つの目的

- 1つ よい会社をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

平成22年5月19日

5月通常例会

いわき建設会館

演題「大転換の時代—何がどう問題なのか？－」 東日本国際大学学長 石井英朗氏

いわき経済同友会

平成22年度 5月通常例会



いわき経済同友会の5月通常例会が、5月19日(水)建設会館にて行われました。

開会にあたり、寺主代表幹事より、新年度からの新しい活動の紹介や、現在宮崎県で発生している口蹄疫の問題を踏まえ、企業経営への姿勢について経営者としてのるべき姿といった、挨拶がありました。

引き続き事務報告が配布資料を参照しながら行われました。さらに4月からの新入会員お二方のご紹介と、5月の誕生日の方3名に花束が贈られました。

講演会では、まず代表幹事からこの日の講演にまつわる話があり、さらに講師の石井英朗氏の略歴紹介が行われました。石井氏は1935年生まれ。大阪市立大学経済学部、法政大学大学院経済学専攻博士課程終了後、我孫子市助役、我孫子市議会議員を経て、

1995年に東日本国際大学教授になり、2007年同大学経済学部長・名誉教授、そして2009年に学長に就任されました。

5月誕生日月プレゼント



左から阿部晴康さん(5/2生)、寺主代表幹事、橋本年勝さん(5/15生)、塚本英雄さん(5/20)

演題 「大転換の時代 ー何がどう問題なのか？ー」

東日本国際大学学長 石井 英朗氏

石井さんはまず、自己紹介を兼ねて「読書は今も時間を割いている。大学学長である以上、勉強が必要だと思っています」と強調された。そこにはやはり、知識人としての自負が滲んでいるように思われた。

また、この経済同友会での講演であることから、「皆さんも、経営者として潮目を見極める勉強がますます必要になってくるでしょう」と、各人が経営人としても大いに勉強を続け、さらなる向上意欲を持つ大切さを説いた。

さらに、大学経営者の立場から「今は大学過剰時代。大学入学者は5割を超えたが、半分以上が東京、南関東3県に集中している。あの関西ですら地盤沈下している状況であり、もちろん福島県やいわき市の大学も例外ではない」と、昨今の大学の経営事情についてひとしきり解説があった。

中でも興味深いと思われたのは、大学は現代社会の縮図であるというくだり。「かつては後発の日本を発展させるためのエリート養成機関ということで、大学というのは意味があった」ということで、

その話からも大学を取り巻く情勢の厳しさが垣間見えた。

石井氏の専門である経済の話では、とりわけアジアの国々に芽を向けることの大切さを強調された。もはや先進国には、進歩の先に豊かさがあるという大きな物語はなくなってしまい、国民共通の規範が失われた。その上で「アジア、特に中国と華僑の人々、そしてインドを合わせれば30億もの人口になる。そのうちの2割の富裕層だけでも大変なボリュームになる」とし、経済から国際情勢につながる物の見方を披露。特に「アジアを日本の友とすることで、日本が大きく成長することにつながる」という話には、大いに興味をそそられた。

話の折々の中で述べられた、「行政は危機感が足りないのではないか。そういうときにこそ、経営人が叱咤激励するような積極性も必要だろう」という話には考えさせられるものがあった。

また会場の質問に対して「今のいわきは自分たちの持っている潜在的な魅力を活かしきってない」と、非常に触発される内容の答えが印象に残った。

第3回政策提言室 勉強会のご案内

第3回 政策提言室の勉強会として下記の内容にて開催致します。万障お繰り合わせの上ご参加下さいますようお願い致します。

日 時 平成22年6月22日(火) 12:00

場 所 いわき建設会館 3階会議室 参加費 1,000円

テ マ 「世界・日本経済の状況と今後の見通しと地域経済の現況と今後の取り組むべきポイントについて」

講 師 常陽産業研究所 取締役社長 影山 俊男氏

第1回 いわき経済同友会経営者セミナー

経済同友会の常任幹事であります大和田さんを講師に、第一回経営者セミナーを開催いたします。

厳しい経済情勢において、人材の重要性も盛んに言われており、社員教育のあり方や教育を行う社長の姿勢も考えていかねばなりません。

テーマを6つに分け具体的に経営の一助となるようなセミナーですので、多くのご参加をお待ちしております。

講師 大和田 宏氏
日時 7月12日(月)

18:30~(食事)

19:00~21:00(講演)

会場 いわき建設会館5階会議室
会費 1,000円

申込先 いわき経済同友会事務局

FMIいわき「いわき経済同友会だより」

下記の日時にオンエア放送されますので、お聴き下さい。

●毎週月曜日 17時45分からです。(約5分間)

【6月予定放送】

- 6月 7日 例会委員会 蛭田 房子 氏
- 6月 14日 企画総務委員会 小沼 郁瓦 氏
- 6月 21日 第4グループ 斎藤 運弥 氏
- 6月 28日 情報委員会 岩尾 英子 氏

※インターネットでも、FMIいわきがお聴きできますので、17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。

<http://www.simulradio.jp/>

5月グループ会報告

経営秘訣研究グループ会

■日 時 5月27日(木曜日)18:00~
■場 所 建設会館4F会議室

●内 容 5月度グループ会はテーマ研究のスタートです。事業計画通り、まず2年前のテーマである「人材育成研究」のまとめを振り返りながら、今年の内容に使える部分を模索いたしました。2年前には参加されていなかったメンバーからも自らの経験談等をお話いただきまして、このテーマにおける秘訣という部分が浮き彫りにされたと思います。



経営品質向上グループ会

■日 時 5月26日(水曜日) 18:30~
■場 所 建設会館5F会議室

●演題：経営品質向上にむけて
●講師：東京海上日動火災保険株いわき支社長 島崎氏
●内容：「経営品質向上に向けて」と題し、お客様第一の主義の本質を考え、どうすればお客様に喜ばれる企業を作れるかについて、12のヒントをもとにしたケーススタディーのDVDを見ながら、講師から要点の解説をいただき、経営者が題目だけお客様第一主義を唱えていないかあらためて仕事と組織を見つめなおす。
また、講座に先立ち、今回が学びの場の最初であることから、三河出身の竹下グループ長より三河武士、徳川家康の戦績に勝ち組負け組を当てはめて、苦しい時にこそ良いお客様の意見に経営を立て直すヒントがあると挨拶があった。

スポーツ交流グループ会

■日 時 5月26日 (水曜日)
■場 所 サラブレットカントリー倶楽部

●内 容 5月の事業計画である「交流ゴルフコンペ」をサラブレットカントリー倶楽部で開催致しました。

開催当日は、大雨で約1時間スタートを遅らせ、さほど雨に苦しめられず競技を終えることができました。参加申込み後、キャンセル者が4名あり、2組でのラウンドとなりました。

表彰式で小野副代表幹事からご挨拶を頂き、6月のボーリング7月のプロ野球観戦と会員同士の交流をどんどん勧めて頂きたいとご挨拶頂きました。



資質向上グループ会

■日 時 5月22日(土曜日) 9:00~
■場 所 平市内の名跡・文化財

●内 容 平市街の文化財を訪れ、先人の足跡を五感で感じ、住職や宮司の声に耳を傾けながらわき市民として地元の歴史と文化を学び考える。

・龍門寺

戦国大名岩城家の菩提寺であり、岩城家歴代の墓所がある。曹洞宗。住職のご案内に由緒ある名刹であることを理解。拝観後、皆で座禅を体験。



・飯野八幡宮

鎌倉幕府に先立つこと3年、將軍源頼朝が1186年に、岩清水八幡宮から御正体を奉じ赤目崎見物岡に社を建立したのが始まりと伝えられている。



本殿をはじめ、国指定の重要文化財が数多くあるとの宮司の声に一同感嘆。

・良善寺

安藤家の菩提寺として創建。安藤家の墓碑がある。戊辰戦争には奥羽越列藩同盟に加わり政府軍に抵抗。門には当時の生々しさを物語る銃弾の痕跡あり。また、良善寺には元代表幹事鈴木秀明氏のお墓があり、皆で墓前にお参りし冥福を祈った。

いわきブランド研究会

■日時 5月7日(金曜日)13:30～
■場所 いわき商工会議所

- 議題 常磐沖潮目の魚ブランド推進懇談会
- 内容 小林事務局長、小野次長を交えブランド化推進懇談会を開催いたしました。当会より武藤、吉田(嘉)、吉田(泉)、須藤、の4名が参加いたしました。

議題はブランド推進懇談会設立の趣旨及び活動予算について、踏み込んだ話し合いとなりました。この会に参加いただけた構成団体の名簿を作成し、近日中に会議を開くことで今回の懇談会を終了いたしました。

6月グループ会ご案内

- 経営秘訣研究グループ会／6月24日(木) PM6:30～
建設会館会議室 過去の内容(顧客満足=CS)を振り返り、経営の秘訣につながる内容をピックアップします。
- 経営品質向上グループ会／6月23日(水) PM6:30～
建設会館会議室 よい会社をつくるよい社長の姿勢とは
講師:みらい経営研究所 所長 大和田宏氏
- スポーツ交流グループ会／6月21日(月) PM 7:00～
スポート平(旧タイラボウル)
- 資質向上グループ会／6月26日(土) AM 8:20～
川前鬼ヶ城において地元交流
- いわきブランド研究会／6月17日(木) PM 6:30～
平ビューホテル(8階ロム)
- 政策提言室／6月22日(火) 正午～
建設会館3F 「世界・日本経済の状況と今後の見通しと地域経済の現況と今後の取り組むべきポイントについて」
講師:常陽産業研究所 取締役社長 影山俊男氏

政策提言室

■日時 5月25日(金曜日)18:30～
■場所 いわき建設会館3F

- 内容 二瓶辰右エ門いわき振興局長を講師に「いわきの産業構造について」の講演を頂いた。
- ①いわき市の人口は平成9年をピークに減少に転じた。特に中山間地は昭和40年代以降一貫して減少している。現在の人口構造を郡山と比較すると、20代及び10歳未満が少ない。これは若者の職場が少ないと意味している。県の人口推計ではいわき市は2035年には30万人を割り込む。30万人は望ましい経済圏の規模。30万人を維持するプロジェクトが必要だ。
- ②日本が資源のない国というのは固定観念。海(排他的経済水域)を含めた国土は世界6位。海洋掘削技術を駆使すれば日本は資源大国になり得る。
- ③いわき市のRSCA指数(産業競争力の指数)は漁業、鉱業、繊維製品、パルプ・紙・木製品、化学製品、窯業・土石製品、非鉄金属、電気機械、電力・ガス・熱供給、運輸で競争力が認められる。いわき市は郡山に比べ、3次産業が弱い。
- ④いわきは産炭地から工業化への転換に成功したが、今また産業構造の転換が求められている。いわきはリーマンショックの直接的影響を受けた。目先の収支均衡に追われるのではなく、少子高齢化に目を向けた産業構造を目指すべきだ。

6月通常例会開催

6月15日(火)

○会場/いわき建設会館5F

○会食/18:30～

○例会/19:00～

○講演会/19:20～

○会費/1,000円

安島副代表 「ローカルスーパーの勝ち残り戦略『顧客満足経営を目指して』」

松崎副代表 「今、我が故郷いわきが大きく変わろうとしている」

山口副代表 「太陽光の利用について」

長谷川副代表 「人口減少と医療について」

会員の皆様には、ご多忙のことと思いますが、会員の皆様のご出席頂きますようご案内申し上げます。

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

発行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
編集 情報委員会 委員長 山名二郎
副委員長/阿部晴康・岩尾英子・坂本和久・清水雅昭・山崎勇喜
委員/田村慎太郎

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp